喜多流 自主公演

令和五年 七月

令和５年 **7月23日**（日）

12:00 開演（11:00 開場）

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売開始：令和５年 **2月1日**（水）午前10時～

料金：全席指定（税込）

S席 10,000円　A席 9,000円　B席 8,000円

C席　7,500円　学生席 2,500円（25歳以下、要学生証提示）

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
　お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会

竹生島　長島　茂

六浦　出雲　康雅

雷電　友枝　雄人

替装束

令和５年度喜多流自主公演について

喜多能楽堂改修工事の為、令和５年度自主公演（令和５年５月～令和６年３月）の会場は **観世能楽堂** となります。

- 指定席券販売中。
- 令和５年度は全７回公演になります。
- 令和５年度 喜多流自主公演年間優待券（税込）
  ７枚綴 56,000円 ／ ５枚綴 40,000円
  販売中
- 会場　観世能楽堂　　観世能楽堂ホームページ ▸▸▸

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ　http://kita-noh.com/
（24時間対応、要登録・無料）

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

電話予約

喜多能楽堂事務局　TEL. 03-3491-8813
（午前10:00～午後6:00 休館日あり）

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
　ご予約の際ご案内いたします。
※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

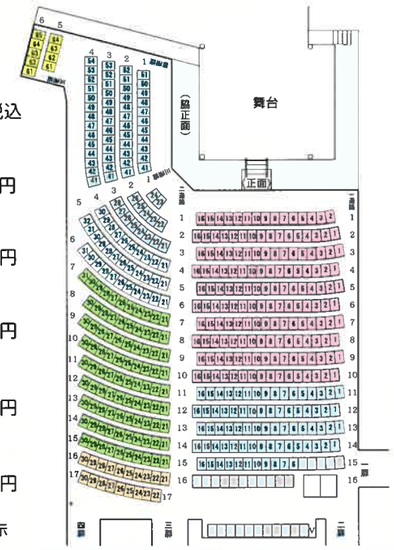
- ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせてのご来場をお願いいたします。
- 開演中の途中入場はお断りいたします。
- 未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- 許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- 客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- 能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- 観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- 係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

自主公演観客席御案内

全席指定席・税込

- S席 10,000円
- A席 9,000円
- B席 8,000円
- C席 7,500円
- 学生席 2,500円

※25歳以下、要学生証掲示



会場案内

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階

会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579（観世能楽堂）

観世能楽堂ホームページ　https://kanze.net/

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813（喜多能楽堂事務所）

喜多能楽堂ホームページ　http://kita-noh.com/

- 銀座駅　東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線　A2出口、A3出口より徒歩２分
  ※ 銀座駅とGINZA SIX地下２階をつなぐ連絡通路がございます
- 東銀座駅　東京メトロ日比谷線・都営浅草線　A1出口より徒歩３分
- 有楽町駅　JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線　銀座出口より徒歩10分
- 車でお越しのお客様　GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。
  詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- 能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- 土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車でご来場の際はご注意ください。

3月13日以降の観世能楽堂における
マスク着用などの感染症対策について
https://kanze.net/publics/index/465/

七月 自主公演番組

能

竹生島

後シテ連・弁財天　塩津圭介
前シテ連・女
後シテ・龍神　長島茂
前シテ・漁翁

ワキ・臣下　宝生常三
ワキ連・従者　梅村昌功
ワキ連・従者　野口琢弘
アイ・明神の能力　野村拳之介

後見　内田安信
塩津哲生

大鼓　原岡一之
小鼓　観世新九郎
太鼓　金春惣右衛門
笛　栗林祐輔

地謡　高林昌司　高林呻二
谷友矩　狩野了一
佐藤陽　大村定
狩野祐一　粟谷充雄

狂言

水汲

シテ・新発意　野村萬
アド・いちゃ　野村万蔵

休憩（二十分）

能

六浦

後シテ・楓の精
前シテ・里女　出雲康雅
ワキ連・従僧　矢野昌平
ワキ・僧　福王和幸
ワキ連・従僧　村瀬提
アイ・六浦所の者　野村万蔵

後見　友枝昭世
谷大作

大鼓　亀井忠雄
小鼓　飯田清一
太鼓　桜井均
笛　松田弘之

地謡　金子龍晟　粟谷浩之
佐藤陽　内田成信
佐藤寛泰　粟谷明生
谷友矩　大島輝久

休憩（十分）

仕舞

雲雀山

粟谷浩之

地謡　佐藤陽
粟谷充雄
金子敬一郎
友枝真也

能

雷電　替装束

後シテ・雷神
前シテ・菅丞相の霊　友枝雄人

ワキ・法性坊　則久英志
ワキ連・従僧　野口能弘
ワキ連・従僧　宝生尚哉
アイ・法性坊の能力　河野佑紀

後見　香川靖嗣
松井彬

大鼓　柿原弘和
小鼓　森澤勇司
太鼓　梶谷英樹
笛　小野寺竜一

地謡　金子龍晟　友枝真也
狩野祐一　金子敬一郎
佐藤寛泰　中村邦生
高林昌司　佐々木多門

附祝言

終了予定時刻 四時半頃

竹生島（ちくぶしま）

醍醐天皇に仕える臣下が竹生島に参詣しようと琵琶湖畔を訪れると、釣船に乗った漁翁と女が通りかかる。臣下がこれに声をかけ竹生島までの同乗を請うと、漁翁は快諾し、のどかな春の湖上の景色を楽しむうちに竹生島に着く。臣下は漁翁の案内で竹生島明神に参詣しようとするが、女もついて来るので「この島は女人禁制と聞いているが…」と不審がると、二人は、そもそも竹生島の弁財天は女体の神である旨を語り、やがて女は「自分は人間ではない」と言い残し社殿の中に、漁翁は「我はこの湖の主である」と言い残して波間に姿を消す。〈中入〉やがて社殿が鳴動し弁財天が現れ、美しい舞を舞う。そうしていると突如、湖上が波立ち龍神が水中から現れ、臣下に光り輝く金銀珠玉を捧げ国土鎮護を約束し、弁財天は社殿に、龍神は水中へ消え去る。

（約八十分）

水汲（みずくみ）

門前のいちゃが野中の清水で洗濯をしていると、寺の新発意が来客のためのお茶の水を汲みに同じく清水にやってくる。日頃からいちゃに思いを寄せていた新発意は、そっと近づきちょっかいを出して、いちゃに水を汲ませたり、小歌を歌わせたりしてたわむれる。

（約二十分）

六浦（むつら）

都の僧が、東国行脚の道すがらに六浦の称名寺を訪れる。周辺の山々の紅葉が今を盛りと見える中に、本堂の庭に一葉も紅葉していない一本の楓の木を見つける。不審に思っていると、どこからともなく一人の女性が現れその理由を語る。昔、鎌倉の中納言為相卿がこの寺に紅葉を見に来たときに、この木が他の木より先立って紅葉していたのを見て一首の歌を詠じた。この木はそれに感激し「功成り名遂げて身退くはこれ天の道なり」という古い言葉を信じて、それ以来紅葉するのを止め常磐木のようになった、と語り、草木を掻き分けて消え去る。〈中入〉その夜、僧が回向をしていると、この楓の木の精が現れ、草木国土悉皆成仏の経文を唱えて、舞を舞って夜明けとともに消え去る。

（約八十分）

雷電　替装束（らいでん かえしょうぞく）

比叡山延暦寺の座主、法性坊僧正が仁王会を執り行う夜すがら、地方官庁である太宰府に左遷されて憤死した菅丞相の亡霊が訪れる。学問の師であった僧正に、菅公の霊は生前の謝恩を述べるが、この後自分は雷となって、生前、自分を冷遇した宮廷人たちを蹴殺そうと思うが、異変にあたって僧正が内裏に召されることがあっても、それには応じてくれるな、と懇願する。僧正が、二度までは謝絶するが、勅使が三度に及ぶときは力なし、と答えるや菅公の霊は形相が鬼のように変わり、本尊の供物の柘榴を噛み砕いて妻戸に吐きかけると、たちまちそれが火炎となって燃え上がる。僧正は灑水（しゃすい）の印を結び、真言を唱え火炎を鎮めると、菅公の霊は、火炎が消える煙の中に姿を消す。〈中入〉案の定、僧正は内裏へ召され法華普門品を読誦していると、暗雲立ち込め雷鳴とどろき、雷神と化した菅公が現れる。祈る僧正と雷となって鳴り渡る菅公は、紫宸殿、清涼殿、弘徽殿と、追いつ追われつもみあううち、ついに菅公は法力に屈するが、帝が「天満大自在天神」の称号を贈ったので、菅公はこれをうけて喜び、虚空に消え失せるのだった。

（約六十分）

令和五年 八月 自主公演番組予告

令和五年 八月二十日（日）正午始
●会場　観世能楽堂
●指定席券販売中

敦盛　粟谷明生
班女　友枝真也
葵上　粟谷充雄